



◆工事が進む町道浜幹線



平成24年度一般会計の補正予算は、7億211万円を減額し、96億8316万円になりました。

減額の主なものは、町道浜幹線道路新設事業の1億350万円で、その他を含め入札差金などによるものです。

質 疑
年金支給時まで無収入となる対象者は、全員

再任用となるのか。
再任用となるのか。在籍中の評価なども考慮し、全員雇用までは考えていない。

条例 職員の再任用を 来年4月から実施

一般会計補正予算
増額の主なもの
●播磨南中学校屋内運動場大規模改造事業（教育費） 2億1867万円
●保育所運営事業（民生費） 3346万円
●漁港管理事業（農林水産業費） 1140万円
減額の主なもの
●町道浜幹線道路新設事業（土木費） 都市計画グループ ▲7760万円 土木グループ ▲2590万円
●庁舎整備事業（総務費） ▲5760万円

補正予算 南中体育館改造で増額 翌年度へ繰り越し

選挙管理委員会 委員・補充員決まる



基本協定 広域ごみ処理 協定締結へ
本町と加古川市、高砂市、稲美町で構成する東播磨海広域行政協議会が廃棄物処理施設の建設予定地を高砂市内と決定しました。これを受け、2市2町が相互協力する協定書を締結するにあたり、議会の承認を求めたものです。

町選挙管理委員会の委員・補充員の任期満了に伴う選挙が行われました。委員には、宇佐美隆史氏（東本荘）、藤原成悦氏（古宮）、佐伯恵子氏（野添城）、松田麻美子氏（古宮）が、また補充員には赤土実知子氏（野添）、高橋修二氏（北本荘）、櫻井修二氏（古田）、青木千恵子氏（北本荘）が全会一致で選ばれました。任期は、3月31日から4年間です。

肺炎球菌ワクチン接種助成を

細菌型肺炎による死亡原因の多くが「肺炎球菌」である。高齢者や障がい者への予防接種助成の考えは。

現在、そこまでの考えは持っていない。保健衛生担当会議などで近隣市町の考えも確認していきたい。

バリアフリー化の推進を

野添コミセンでは、バリアフリー化の一環として下足のまま利用ができ好評である。他のコミセンで実施の考えは。

コミセン館長会でも紹介しているが、判断は各コミュニティ委員会に任せている。

福祉タクシー券使用促進を

福祉タクシー助成チケットは、1乗車に3枚（1500円）まで使用できるようになるが枚数制限を撤廃しては。

より多くの外出の機会に使用できるように、1乗車あたりの使用枚数に制限を設けている。



▲土足で利用できる野添コミセン



▲車いすも利用できる福祉タクシー

自殺予防啓発を万全に

町のホームページに「ここは元気ですか」の自己チェックを立ち上げてあるが、ゲートキーパーの状況はどうか。

職員・民生委員などの140の方に3回の講習を実施。ゲートキーパーからの報告はない。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人のことです。

弁護士相談の拡充を

町実施の無料弁護士相談は、中央公民館まで行く必要がある。外出困難な交通弱者などへの対応を。

現在、利用ができない交通弱者なども相談できるよう福祉施策の一つとして検討したい。

障がい者の雇用体制は

障がい者雇用を義務付ける法定雇用率が改定される。現在、町職員の雇用率は。改定に対応できる体制は。

現在の雇用率は2.18%。退職や新規採用で職員数に動きはあるが、改定には対応できる状況である。